

月	栽 培 管 理
1	【整枝剪定】 間伐が一番重要な作業。 これを怠ると栗畑が栗林になり収量が低下する。 剪定は内部に光が入るように芯の枝を間引く。
2	
3	【元 肥】 3月下旬～4月上旬 化成肥料 14-14-14 60kg/10 a
4	
8	【干ばつ対策】 土壌の乾燥を防ぐように敷きわらをする。※梅雨明け前後に行う。 【収 穫】 自然に落果した物から速やかに採取する。遅れると虫害の被害が多くなる。 ※ クリタマバチ対策 土作りと適正な施肥、密植の解消(間伐)及び整枝剪定の実施により樹勢を強く保つ。
9	
10	【礼 肥】 収穫後直ちに樹勢回復と翌年の母枝を充実させるために施用する。 化成肥料 14-14-14 60kg/10 a
11	
12	【イガの処理】 病気の発生源になるので集めて土中への埋没等、適正に処分する。

(参考)

栗は生長が早いうえ枝の分岐が多いので、すぐに密植になる。光が当たる部分に結実するので、ある一定期間が過ぎて枝が混んでくると収量が減ってくる。

減収しないように縮伐・芯抜きを行なって光の当たる部分を多くする事が収量を安定させるポイント。

栗林になってしまった栗園を栗畑に戻したい

この場合には、まずは間伐して残した樹の周囲に光が当たるようにする。

密植園の状態

密植園の解消（間伐）は収量アップにつながる

